

平成22年度科学研究費補助金（基盤研究（C））の補助事業完了理由書

平成22年〇〇月〇〇日

〇〇大学〇〇学部・教授 〇〇 〇〇 [印]

平成22年10月1日付けで完了した平成22年度科学研究費補助金（基盤研究（C））の補助事業については、次のとおり当初の研究計画における到達目標を達成しています。

(1) 完了した研究課題について	①研究種目名、②研究課題名、③当初研究期間、④年度毎の当初交付額（内約額含む）、⑤年度毎の実使用額、を記述してください。
①基盤研究（C） ②〇〇〇〇〇〇に関する研究 ③平成21年度～平成23年度 ④平成21年度：2,600,000円 平成22年度：1,300,000円 平成23年度：650,000円	⑤平成21年度：2,600,000円 平成22年度：1,300,000円 平成23年度：0円
(2) 当該研究課題の研究計画調書に記載した達成目標	
(3) 具体的な研究経過・成果など、当該目標の達成状況	

【参考：平成23年度の応募研究課題】

研究種目名	基盤研究（B）	細目名（細目番号）	□□□□（〇〇〇〇）
研究課題名	△△△△に関する研究		
応募経費（千円）	計 20,000 （内訳：H23 10,000 H24 5,000 H25 3,000 H26 2,000 H27 —）		

## 様式 U-1 別紙 〔作成上の注意〕

1. この補助事業完了理由書は、研究が予想以上に進展し、継続研究課題の当初の到達目標を既に達成したため、研究種目を変えて更なる研究発展を目指す場合に、研究代表者が様式U-1「補助事業完了届」に添付し、研究機関を通じて平成22年10月27日（水）までに日本学術振興会研究事業部研究助成第一課に提出すること。（必着）
2. 「（1）完了した研究課題について」欄の「④年度毎の当初交付額（内約額含む）」、「⑤年度ごとの実使用額」欄には、直接経費と間接経費の合計額を記入すること。
3. 「（2）当該研究課題の研究計画調書に記載した達成目標」欄には、応募の際、研究計画調書に記載した達成目標を簡潔に記入すること。
4. 「（3）具体的な研究経過・成果など、当該目標の達成状況」欄には、初年度以降、当該研究をどのように遂行し、その結果どのような成果を上げて目標を達成し、研究を完了することができたのかを具体的に記入すること。
5. 「参考：平成23年度の応募研究課題」欄には、平成23年度に新たに応募する研究課題の「研究種目名」、「研究課題名」、「細目名（細目番号）」、「応募経費」について、正確に記載すること。